

ディーラーが発信するカマロの特別仕様車

S
Special Edition

昨年11月にオープンしたキャデラック・シボレー 国立は、魅力的なカスタムプログラムも展開している。オープンと同時に発売されたカマロ・ジオバンナ・エディションをクローズアップ。

文責 ● 文 Text by Tatsuya Kushima
写真 ● 写真 Photos by Takamasa Miyakoshi

日 本ではあまり知られていないが、アメリカにはディーラーが独自にクルマを仕上げる風習が昔からある。ディーラーオプションやアフターパーツを用いてオリジナルにカスタムするのだ。その理由は、そもそもカスタム文化があること、そのエリアに見合った味付けができること。アメリカは広いだけに土地ごとの特色でクルマを際立たせることができるのだ。

有名なところではマスタングCSなどというのがある。60年代にカリフォルニアのディーラーが手掛けたCS（カリフォルニア・スペシャル）は当時大ブレイクした。

なぜ、そんな話をするかというと、日本でもようやくそうした文化が起ころつつあるからだ。クローズアップするのは、キャデラック・シボレー 国立に展示されている「カマロ・ジオバンナ・エディション」。新型カマロをベースにディーラーが仕上げた一台だ。

ベースとなったのはV6エンジンを搭載したLT SS。ブラックのボディにGTラインをまとい、22インチの大径ホイールを履く。で、まずこのラインだが、おもしろいのはアメリカ車にありがちな太いものではなく、2本の細いラインが選ばれている点。いつてしまえば、レゴのイタリアンマシン風だが、これがなぜかカマロにピッタリとマッチする。

ではどうしてこういったラインを採用したかという点、このディーラーはそもそもアメリカ最大級のラグジュアリーアフターホイールメーカー「ジオバンナ」の輸入総代理店を営んでいるから。ジオバンナはさまざまなカスタムパーツを扱っているが、



ロゴに目を通してもらえばわかるが、ランボルギーニやフェラーリ、ペントレー、アストンマーティンなどをイメージリーターとしてしている。つまり、カマロを近頃LAでも大人気のヨーロッパアンチイストに仕上げたのだ。

よってホイールもキラキラのデザイン命のモノではなく、スポーティな雰囲気を持つモデルが選ばれた。しかも、JWJの刻印の入った車検対応タイヤである。この他では、フェニエ

をカスタムするジオバンナならではのサービスも提供している。ジオバンナは、

に「ジオバンナ・エディション」のロゴが入れている。

ところで、ジオバンナ・エディションの名称だが、これはジオバンナのホイールを履けば誰もがそう呼ばれるシロモノではない。LAにあるジオバンナのエクスクルージブビルダーのモータージュニア・モーターリングが手掛けたものをいう。つまり、キャデラック・シボレー 国立からのオファーで出来上がったこのカマロがまさに「ジョバンナ」である。ディーラーも販促の場がや

» Chevrolet Camaro Giovanna Edition



本誌でもお馴染みのジャーナリスト丸島隆也氏が企画したジオバンナ・エディション。ベース車両はブラックボディのシボレー・カマロLT SS。ボディ中央を走るストライプのほかフェニエルキャップやシートなどが専用デザインとなる。装着される22インチホイール（タイヤはヨコハマ・パナダ）はツインスポークタイプのジオバンナ・キリスのほか、5スポークタイプのジオバンナ・ダラー（写真上段左）も選択が可能。車両価格は498万円である。

Information



キャデラック・シボレー 国立
●所在地=東京都国立市谷保6037-1
Phone 042-575-2526
●営業時間=10:00~20:00(平日)
10:00~18:00(日曜・祝日)
●定休日=水曜日・第3火曜日
<http://www.giovanrawheels.co.jp/>
<http://www.stg-inc.jp/>